

【参考1】 「授乳・離乳の支援ガイド」

(平成19年3月14日策定、厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課)

「授乳・離乳の支援ガイド」とは、従来から離乳指導に多く用いられていた「改定 離乳の基本」(平成7年策定、旧厚生省)に代わり策定、公表されたものである。このガイドは、妊産婦や子供に関わる保健医療従事者が、親子双方にとって慣れない授乳や離乳食を体験していく過程をどのように支援していくかという“育児支援の観点”を重視している。

ガイドには、「離乳食の進め方の目安」について、幅をもたせた月齢で表記され、生歯や口腔機能の発達との関係が重視されて記載されている。内容は「食べ方の目安」、「食事の目安」、「成長の目安」の項目に分けて記載され、離乳食の調理形態については次のとおりである。

生後5～6ヶ月頃

- ・なめらかにすりつぶした状態(ポタージュ状の状態)
- ・調味の必要はない

生後7～8ヶ月頃

- ・舌でつぶせる固さ(豆腐ぐらいが目安)
- ・離乳の進行に応じて、食塩、砂糖など調味料を使用する場合は、それぞれの食品のもつ味を生かしながら、薄味でおいしく調理する。油脂類も少量の使用とする。

生後9～11ヶ月頃

- ・歯ぐきでつぶせる固さ(バナナぐらいが目安)
- ・離乳の進行に応じて、食塩、砂糖など調味料を使用する場合は、それぞれの食品のもつ味を生かしながら、薄味でおいしく調理する。油脂類も少量の使用とする。

【参考2】 窒息した場合の対処法

「知っておきたい こどもの看病 手当のしかた」(日本赤十字社編集・発行)から抜粋

乳児

気道異物の除去





あごを支え、頭と頸を保護する。

太ももに腕をのせ、頭を下げ、背中の真中を手掌基部でたたく。頭をたたかないように指を曲げる。

しゅしやうきぶ
手掌基部

注) 生体で練習しないこと。